

日本出版クラブ震災対策室 図書寄贈事業がスタートしました

No.626 (6)

日本出版クラブでは、本年一月一日に発生した令和六年能登半島地震をきっかけに「日本出版クラブ震災対策室」を発足した。その経緯は震災対策室(相賀昌宏運営委員長(小学館会長))による報告が本紙前号で掲載されている。

出版クラブだより

2024年(令和6)12月1日

震災対策室運営事務局は九月十二・十三日に再び輪島市、珠洲市を訪問し、図書館職員、市民職員、読み聞かせボランティア団体、仮設住宅集会所の方々から図書寄贈に関する聞き取り調査を行い、今後の事業計画を作成した。

本事業は、①被災地の読書環境整備への支援、②被災地の子どもたちの夢の実現のための支援を行なうことを目的としたものである。

トーハンから寄贈された約五〇〇〇枚のダンボールにより輪島市立図書館の仮移転作業も順調に進んでいる。援を目的として、仮設住宅の供与期間が二年そのため、二年間の計画となる。

珠洲市内の仮設住宅集会所十

か所への図書寄贈を手始めに輪

島市(十か所)、七尾市(三か所)、穴水町(三か所)、能登町(三か所)の計二十九か所の仮設住宅集会所を主な図書寄贈先とする。寄贈する図書は、本事業へ賛同いただいた出版社からご提供いただき、加えて本事業への寄附金を当面の活動資金として配達費、本棚といった備品の購入に充てることが決定している。また、寄贈先地区の書店



珠洲市のいろは書店の前で

十一月二十一～二十三日に珠洲市の仮設住宅集会所や公民館に図書寄贈を実施し、「寒くなつて外出機会が減るなか、楽しい本があれば集会所に集まりやすくなる」と好評に(別項写真)。寄贈の際の各地域までの図書の配達には日本出版取次協会、日本出版販売、トーハンのご協力を得た。

今後は読書支援として図書寄贈のほか、被災地の書店や図書館と協力しながらのイベントも計画中で、過去の様々な災害に對応してきた経験の蓄積を活かして、これからも読書支援を継続していく。また、その成果を出版界内外に発信することも震災対策室の活動基本指針のひとつとなつていて。

写真上から、珠洲市立直(ただ)小学校グランドにある野々江町第一団地集会所で北國新聞の取材を受ける管理者の従二(じゆうに)恵二さん(左)、本棚設置場所の選定や集会所への案内をしていただいた珠洲市教育委員会・岸田和久事務局長(右)、本棚を設置した珠洲市大谷集会所では、一部地域で断水が続いているため自衛隊による入浴支援が行なわれていた



「能登の置き本」を実施



被災地の声に耳を傾けて レスキューキッキンカー& ブックカフェをオーブン

【報告】 鎌倉 幸子

九月二十一日の豪雨災害が奥能登を襲った。地震と豪雨の二重災害の中で生活を余儀なくされている方々を想うと胸が痛む。そんな中、私の知り合いがレスキュー・キッキンカーを運行し珠洲市で二十回以上炊き出しを行っていることを知り連絡を取る。炊き出しのスペースに、ブックカフェを設置させてもらえることとなつた。

十一月二日に石川県珠洲市の若山小学校、十一月三日に同市にある大谷小中学校敷地にてレスキュー・キッキンカー

&ブックカフェをオーブン。ブックカフェにある、本をペラペラとめくりながら

・大の里の優勝はうれしかつた

・手裏剣の折り紙、ここでつくるっていい?

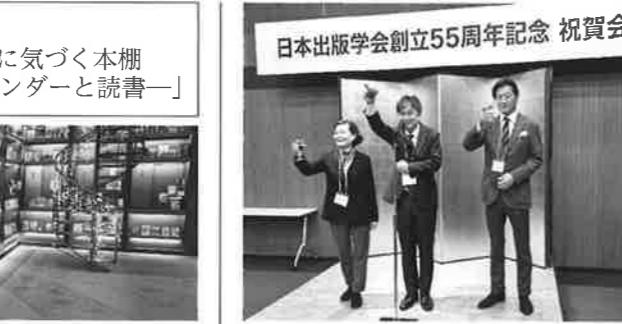
・地震の後の豪雨は辛い

・仮設住宅に台所はあるけれど、いつも使っていた鍋がないのが不便

・土砂災害で浄化槽に土砂が入った。まだ断水など、うれしいこと辛いことの胸の内を話してくれた。

またブックカフェを見た方が「体育館の中では、ブックカフ

ーと読書ー」展を開催(十一月七日～二十九日)。



一九六九年三月に設立された日本出版学会は今年五十五周年を迎えた。講談社社長の野間省伸氏を創立五十五周年記念事業の委員長として、記念講演会第一部「韓国書店産業支援政策と書店のこれから」(白源根氏)、第二部「日本コミック産業の現在デジタル化／グローバル化の最前線」(細野修平氏)と祝賀会が出版クラブで開催された。写真は祝賀会での乾杯の様子。左から金善男(キム・ソンナム)氏(韓国出版学会会長)、清水一彦氏(日本出版学会会長・文教大学教授)、野間氏。

昨年実施したジャンダード関選書につづく第二弾として、今はパートナー、親子、仕事、世の中、教育、スポーツ、お金といった七つのカテゴリーに分類。ブックディレクターの幅允孝氏が選書した約一五〇冊の本をラインボーカラーのパネルを背景に展示した。本展示は小冊子にまとめられ来年三月頃に日本出版クラブライブラリー委員会より発行予定。左記QRコードからはウェブマガジン「molt(ミモレ)」に掲載された幅氏のインタビューを読むことができる。



小さな本の展覧会22
「私たちの『思い込み』に気づく本棚－ジェンダーと読書－」

(7) No.626

出版クラブだより

2024年(令和6)12月1日



クラブライブラリーでは、私たちの「思い込み」に気づく本棚－ジェンダーと読書－展を開催(十一月七日～二十九日)。

今後は読書支援として図書寄贈のほか、被災地の書店や図書館と協力しながらのイベントも計画中で、過去の様々な災害に對応してきた経験の蓄積を活かして、これからも読書支援を継続していく。また、その成果を出版界内外に発信することも震災対策室の活動基本指針のひとつとなつていて。